

令和 7 年度 事業成果報告書

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで)

1. 地雷処理支援事業成果実績

カンボジア政府機関の CMAC (カンボジア地雷対策センター) と共同して事業を実施し、村人参加型の地雷探知チーム 5 名により、バタンバン州のカムリエン郡、プノンプラ郡、サンパウルー郡内の 5 村 9 箇所の地雷原を探知し、約 1 0 4 ヘクタール (累計約 7 4 0 ヘクタール、東京ドーム 1 5 8 個分) の農地を安全にするとともに、活動地域の村人からの情報による回収活動、危険回避の啓蒙活動を行いました。

今期の特徴は、2 0 2 5 年 7 月からタイとカンボジアの国境領土問題で紛争がはじまり、1 2 月までの半年間は停戦になったり、タイ側からの攻撃が再開されるなどの影響により断続的に探知作業ができない状況が続き、例年のような成果がでておりません。

詳細は、以下である。() 数字は 2 0 1 1 年 8 月からの累計

- (1) 処理した地雷数 : 対人地雷 9 個 (1, 2 0 0 個) 対戦車地雷 8 個 (2 4 5 個)
- (2) 処理した不発弾 : 3 8 個 (2, 0 1 3 個)
- (3) 処理した面積 : 1, 0 4 2, 4 1 2 平方メートル (7, 4 0 2, 3 2 6 平方メートル)

2. 地域復興支援事業成果実績

(1) 相互の友好交流を促進する事業

2 月 7 日～8 日、大阪で実施されたワン・ワールドフェスティバルに IMCCD の活動を広報する目的で、支援者の南真理さんご夫妻等がブースを開設し、関西のカンボジア人など多くの方と交流しました。5 月 3 日～4 日、東京代々木公園で実施されたカンボジアフェスティバルに東京支部の中里さん等がブースを開設し、訪れた皆さまやカンボジア大使等と交流しました。1 1 月 9 日～1 5 日、高山理事長とクマエ蒸留会社のソックミエン社長は、イギリス・ロンドンで開催されたお酒の品評会の最高峰と言われる「IWSC」の表彰式に出席して世界各国から来られた 3 0 0 名の方々と交流しました。その他、タサエン村を訪問された 3 8 名の方は村民や子供たちと交流されました。

(2) インフラ整備を支援する事業

ア 井戸掘削

井戸 6 基 No.87 No.90 No.91 No.92 No.94 No.95 完成。

イ ゴミゼロ運動

IMCCD 日本語学校の子供達が、宿舎のゴミを拾う活動を毎日実施しています。オアンロック小学校の先生たちが、ゴミ焼却炉を学校に作りたいと IMCCD 宿舎の焼却炉をモデルにして今回建設されたオアンロック幼稚園の敷地内に焼却炉が完成しました。

(3) 農業の発展を支援する事業

クマエ蒸留会社が管理する 1 0 ヘクタールの農地では、キャッサバ芋、さとうきび、マンゴー、シトロネラ、バナナ等を栽培し、それらの収穫農産物が加工産業の発展に繋がるように研究しています。

(4) 地場産業の発展を支援する事業

クマエ蒸留会社が取り組んでいる農産物を加工して産業の発展を目指す活動では、キャッサバ芋、ジャスミン米、サトウキビ、マンゴー、バナナ、ジャックフルーツ等を原料にして焼酎やスピリッツ、ラム酒を製造しています。2023年5月、パリで開催されたお酒の審査会 **KuraMaster2023** に、酒類5種類をエントリーし挑戦した結果、4種類が入賞しました。どれも高級酒として評価され、カンボジア国内や日本にも輸出され販売されています。また、イギリス・ロンドンで開催された **IWSC** 世界最高峰のお酒のコンクールで4種類が入賞し、11月、高山理事長がソックミエン社長とロンドンで開催された表彰式に出席しました。今期3月、再び **IWSC 2026** に4種類をエントリーしました。発表は次期6月です。

(5) 日本企業の誘致を支援する事業

現在まで、2008年に1社、2011年に2社、2014年に1社を活動地のカムリエン郡に企業誘致して活動しましたが、2019年に1社がプノンペンの経済特区に移転し、現在は、3社がカムリエン郡地域で操業しています。各社はカンボジア政府、特に税関から検査を受けますが、不具合事項の是正に関する相談に応じ、政府への適切な対応をアドバイスしています。

(6) 教育環境の発展を支援する事業

2026年3月5日、日本の桜井潤一様、直原美和子様からのご寄贈で、オアンロック幼稚園が完成しました。

(7) 人材の育成を支援する事業

ア 現在、宇和島市吉田町の伊予アパレルに來ているカンボジア人技能実習生15名の側面的な支援をしています。

イ IMCCD日本語学校

日本語の先生が退職し、現在、先生はいませんが、数名の子供たちが自主的に日本語を勉強しています。日本からの訪問者があった場合は、子供たちに日本語を教えてもらっています。

(8) 講演、写真パネル展などを通じ平和構築を啓発する事業

ア 日本での講演活動

日本での講演活動は、小・中・高校生、一般社会人の方などに大小計36回実施しました。

写真パネルイベントは、2月に兵庫支部が大阪でワン・ワールドフェスティバルに出展、多くの皆さまがブースを訪問してくださいました。更に東京支部が東京の代々木公園で行われたカンボジアフェスティバルに出展しました。愛媛では宇和島分会が宇和島NPOまつりに出展、支援者の皆さまには講演会を開催していただきました。

イ 日本人のタサエン地区など訪問見学

今期は、訪問者が増え、38名の方がタサエン村の宿舎を訪問されました。

(9) 広報に関する事業

ア リーフレットやカンボジア便りなど年2回支援者の皆さまに1回につき2,500部を郵送しています。

イ 表彰

今期なし

ウ 奈良県にて計6回のスタジオ収録を行い、毎週定期的に放送されました。また、愛媛県松山市においても、定期的にラジオ番組への出演を行いました。

著書 『地雷処理という仕事』－筑摩書房－初版8,000部 重版2刷り800部
3刷り800部 4刷り800部

『平和の種になりたい－カンボジアの復興に奔走した12年の記録－』2,000部
10周年記念誌『平和の種になりたい－ご支援いただいた皆様に感謝－』
初版2,000部 増刷500部

動画 『平和の種になりたい』－IMCCD－